

科目名 (科目番号)	高次脳機能障害 の理学療法 (061751)	教員名 山本竜也・他	学科等	理学療法	選択	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		火-金	18:00-19:00 (A326)	
授業概要	神経科学・神経心理学的観点から、高次脳機能障害(特に動作・行為障害、認知障害、言語障害)に対する理解を深める。このような障害を呈する患者に対してリハビリテーション従事者に何が出来るか共に議論する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	中枢神経系の構造と機能	到達目標:高次脳機能障害を考察するために必要な基礎的な知識を理解する。 学習内容:中枢神経系に関する解剖・生理学的知識を復習する。				
	2	脳画像読影-1	到達目標:健常者のCT画像を基に各脳領域の同定が出来るようになる。 学習内容:CT(コンピュータ断層撮影)について学習する。				
	3	脳画像読影-2	到達目標:各種MRI撮像法(T1・T2・FLAIR・DWI etc.)の違いについて理解する。 学習内容:MRI(核磁気共鳴画像法)について学習する。				
	4	脳画像読影-3	到達目標:理学療法国家試験レベルの脳画像読解力を習得する。 学習内容:症例の脳画像を用いて病巣部位や臨床症状の推定を行う。				
	5	脳機能研究手法-1	到達目標:脳機能研究手法(脳波・fMRI・NIRS・TMS・tDCS etc.)における各々の特徴を理解する。 学習内容:上記研究手法について学習する。				
	6	脳機能研究手法-2	到達目標:脳機能研究手法(神経化学・遺伝学的手法 etc.)における各々の特徴を理解する。 学習内容:上記研究手法について学習する。				
	7	認知障害 - 1	到達目標:熟知対象の認知障害(物体失認・相貌失認 etc.)に関する理解を深める。 学習内容:『視覚』の生理学を復習するとともに、視覚性認知障害について学習する。				
	8	認知障害 - 2	到達目標:空間認知障害の症状を受講前よりも具体的にイメージできるようになる。 学習内容:実際の症例を参考に空間認知障害(特に半側空間無視)について学習する。				
	9	動作・行為障害- 1	到達目標:高次運動野の機能に関して理解を深める。 学習内容:『運動』を生理学及び神経科学の観点から学習する				
	10	動作・行為障害- 2	到達目標:失行及び高次運動障害の症状を受講前よりも具体的にイメージできるようになる。 学習内容:実際の症例を参考に上記障害について学習する。				
	11	失語	到達目標:失語の症状を受講前よりも具体的にイメージできるようになる。 学習内容:実際の症例を参考に失語(ブローカ・ウェルニッケ etc.)について学習する。				
	12	精神疾患	到達目標:精神疾患(不安障害 etc.)やモチベーション(報酬系)に関する理解を深める。 学習内容:内分泌系・自律神経系・広範囲調節系について学習する。				
	13	記憶・学習	到達目標:記憶・学習に関して理解を深める。 学習内容:主に海馬(長期増強)・小脳(長期抑制)について学習する。				
	14	脳の可塑性-1	到達目標:脳の可塑性について理解を深める。 学習内容:豊かな環境(Enriched environment)について学習する。				
15	脳の可塑性-2	到達目標:脳損傷後の機能回復メカニズムに関する理解を深める。 学習内容:脳損傷後の可塑性に関する最先端研究について紹介する。					
成績評価の方法・基準	小テスト(100%)						
教科書	PT・OT基礎から学ぶ画像の読み方 第2版 国試画像問題攻略		中島雅美ら		医歯薬出版		
参考図書	高次脳機能障害学 第2版 神経科学－脳の探求－ ライブラリ脳の世紀:心のメカニズムを探る 神経心理学コレクション		石合純夫 マーク・F ベアーら 久保田競ら(シリーズ編集) 山鳥重ら(シリーズ編集)		医歯薬出版株式会社 西村書店 サイエンス社 医学書院		
教員からのメッセージ	脳損傷患者を「難しい」の一言で片付けますか？ 既知の知識を習得し、未知の問題に挑戦する面白さを体感してください。						